

入居者の人生からの学び



▲入居者一人ひとりに「先生」と付けた名前札を用意して頂きました。
先生の人生から、たくさん学びを得られたでしょうか。

看護大学での特別講義に行きました

ふくろう新聞

<発行>
特別養護老人ホーム
淡路ふくろうの郷
広報委員会
洲本市中川原町中川原 28 番地 1
TEL: 0799-25-8550
FAX: 0799-25-8551
ホームページ
<http://www.normanet.ne.jp/hyofuku/>

5月2日、今年もふくろう畑の植え付けに淡路聴
力障害者協会、手話サークルの皆さんが来てくだ
さいました。開所当初は入居者が率先して行っ
いた畑も10年目となると、ボランティアの方々の
協力なしには行えませんでしたので助かっています。
今から7月の収穫祭が楽しみです。

自分史お披露目を BBQ大会で

5月末に花房夫婦の自分史が
完成します！

いよいよ本が完成されます。思う
ように情報を集められずなかなか
まとめられなかったため、完成予定
を大幅に延期させることになって
しまいました。濱田様に関しては、
垂水で過ごされていた時の友達や
お世話になった方々から、様々な情
報を文書にて送ってくださいまし
た。辛島様に関しては、ふくろうで
の生活の様子と、甥子さんの悩みに
ついてまとめているところです。

また、黒崎様の自分史DVDも完
成に向け鋭意製作中で、7月4日の
ふくろうバーベキュー大会で完成お
披露目会をする予定です。

(生活援助係 石川)



▶ 畠さんから湧き上がる食べたい気持ち
に去年の谷さんが重なります。

することが
出来ました。
学生たちは興
味深く聴いて
くれました。
講義の後は、
いつもお世話
になっている
お寿司屋さん

へ行きました。畠さんは普段はソフ
ト食です。実際に回ってくるお寿司
を見て食べたいと話され、店長の協
力を得て特別に作ってもらった握
りを流してもらったり。茶わん蒸し
を食べたり楽しい時間を過ごしま
した。
(健康看護係 渋谷)

看護室の窓から

長塚淑子様への取り組み

長塚淑子様は、平成18年4月22日から花ユニットで生活されています。平成22年

1月に脳梗塞後遺症のため、口からの食事をとることが困難になり、胃へ直接栄養剤を注入するための胃ろうを造設しました。しばらくは胃ろうから栄養剤を注入して過ごされていましたが、胃内の栄養剤が逆流しての嘔吐が見られるようになり、平成27年2月に入院され、胃ろうから十二指腸ろうとなりました。

胃ろうはチューブの先端が胃にあり、十二指腸ろうは胃より奥の十二指腸にあります。栄養剤が十二指腸へ送り込まれるため、栄養剤の逆流を物理的に防ぐことができます。ただし、胃では固形物を消化できませんが、十二指腸では通常胃で消化された液状のものでなければなりません。そのために、注入できる栄養剤の形態が、今までの半固形栄養剤から液体栄養剤へと変更されています。

また、チューブの先端が奥に留置されたことで逆流は軽減されました。現在は退院直後と比べても顔色もよく、落ち着いて過ごされています。しかし、栄養剤の注入速度、便秘等の状況でやはり逆流は見られる可能性があり、逆流しない体位の工夫などは必要です。また、栄養剤にも種類が多く、どの栄養剤が一番適しているのか、一日の摂取カロリーは充分か？水分量は足りているのか？管理栄養士、生活援助員と共に、より快適に生活を続けていただけるように試行錯誤しながら、支援を続けています。(看護職員)



▲居室にて落ち着いて過ごされている長塚様

淡路ふくろうの郷地域交流会 今後の予定

4月	1日	鯉のぼり設置
	19日	地域交流委員会総会
5月	2日	手話講座 開講式
		※第1・3土曜日に開催
	8日	地域を歩く(松栄寺)
6月	6日	中川原小学校参加支援、テント撤去
7月	2日	厚浜芸能保存会踊り交流
	4日	ふくろう収穫祭、バーベキュー
	18日	そうめん流し準備
	19日	そうめん流し
8月	1日	島祭り踊り参加支援
		かかし作り
9月		みはる会踊りと太鼓交流
10月		ふれ愛まつり合同会議
	25日	第10回ふくろうふれ愛まつり
11月		年末懇親会
12月		しめ縄作り、餅つき支援
		門松作り

地域交流会総会

地域交流会総会が4月19日に実施されました。

総会では、事務局から平成26年度の事業報告と平成27年度の事業計画についての提案がありました。また、役員については昨年度と同じ方々をお願いすることとなりました。今年度も、さまざまなご支援をいただきながら行事を実施していきます。どうぞよろしくお願ひします。

(総務係)



▲昼食は中川原の野菜を使ったお弁当をいただきました。

「第19回全国聴覚言語障害者福祉研究交流集会」のお知らせ

日程：2015年11月21日(土)～22日(日)

場所：神戸市勤労会館(神戸市中央区雲井通5丁目1-2)

参加費：5,000円

今年の全聴福研は・・・

「戦後70年、阪神淡路大震災20年」と「介護報酬」

そして「聴覚障害児・者の未来」がキーワードです！！

今年兵庫県での開催です！
ふるってご参加ください！
皆さんの力で福祉を盛り上げていきましょう！！

新任職員 の 決意 表 明

ふくろうの郷で仕事を始めて、はや数か月が経過としていきます。施設職員としてこれからの決意や目標をそれぞれに語っていただきました。

生活援助係

稲井大湖

新任職員研修では、施設長から話して頂いた「人は皆、楽しく生きたい」という言葉が最も印象に残りました。私は介護の仕事は初めてで、自分が何を目指して介護を学んで行けば良いのかと悩んでいました。しかし「人は皆、楽しく生きたい」という当たり前な言葉が、私にとっての一つの答えなのだと思います。

人として当たり前の事を、当たり前なものとして生活して頂く。それこそが介護の目指す最高の目標ではないかと思えました。

総務係

瀧口豊美

4月1日から総務係で勤務させて頂いています。瀧口豊美です。どうぞよろしくお願ひいたします。

先日、ふくろうの郷という名前の由来を知りました。「福老」「福豊」「不老」の三つの願いが込められているということでした。皆さま一人ひとりに幸福を感じていただけるよう、微力ですが努力してまいります。

まずは仕事を覚えるのはもちろんの事ですが、手話を勉強して、入居者様方と楽しくおしゃべりが出来るようになりたいと思っています。

栄養調理係

喜田恵子

栄養調理係の喜田恵子です。2月から淡路ふくろうの郷で調理の仕事をしていきますが、ふくろうの郷では高齢の入居者の咀嚼・嚥下に合わせて具材の切り方を変えたり、野菜を柔らかく湯がいたりといった調理法をしており、前の仕事との違いに格闘の毎日です。

新しい仕事に早く慣れ、入居者に「おいしい！」と言ってもらえるご飯をてきぱきと作れるようになるよう頑張ります。



喜田さん



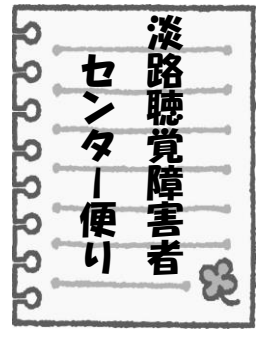
瀧口さん



稲井さん

淡路ふくろうの郷は、皆様のご支援のおかげで、今年で十周年を迎えることができました。本当にありがとうございます。感謝の気持ちと同時に、責任の重さを改めて感じました。

これからも初心を忘れず、二十年三十年と皆様に愛される場所でありたいように、そして法人の目標である「一人ひとりが共に生きる」ことのできるよう、職員一丸となり日々取り組んでまいります。よろしくお願いいたします。(岩林)



淡路聴覚障害者

センター便り

洲本市港 2-26
洲本市健康福祉館 3階

第六次産業を学ぶ

第一回 社会生活教室

4月19日、当センターとおのこの家共催で第一回社会生活教室を行いました。47名の参加を得て神戸市西区神出町にある「兵庫楽農センター」の見学をさせていただきました。

おのこの家では1年前から近隣の畑を借りての野菜づくりを始めました。これから更に本格的に農業にも力をいれていきたい、どんな経営をしているのか参考にするための訪問です。

この施設は第3セクターで運営しており、農作業の体験や実践を通して「農」の大切さを学んだり、併設しているレストランで食を楽しむなど生産、加工、販売まで一体的に運営しています。実際に農業を始めたい方が、農業を学び、野菜を育

農産物生産から加工、販売まで

て、加工・販売し収益を得るといふプログラムもあります。

第六次産業とは

「第六次産業」とは農作物を生産、加工、流通・販売までを農業者が主体的かつ総合的に関わることによって、加工賃や流通マージンなど付加価値を、農業者自身が得ることによって農業を活性化させようというものです。地域の特産を活かして町おこし的に地域全体で取り組んでいるところもあります。

野菜中心でも食べ応えのあるレストラン

昼食はこの施設内にある自然派レストラン「かんでかんで」でいただきました。地元で採れ



▲4月からおのこの家に通所されている岡本雅美さん。奥さんの多恵子さんも一緒に参加



▲いつもは仕事でなかなか会えないけれど今日はゆっくり交流でき、おいしいものを食べ、話にも花が咲きます。

た野菜を使った50種類以上の和洋創作料理がバイキング形式で楽しめます。申込者も多く、なかなか予約がとれないほどです。メニューは野菜中心でヘルシーなものばかり。日頃野菜不足を気にされている方にも安心で、また、それを食べてもおいしく参加者の皆さんも何度もおかわりをされています。

中川原の地域性を生かし、おのこの家の将来展望

「第六次産業とは農業から加工、販売まで業務展開することだと初めて知った。食事もおいしくヘルシー。勉強になった。」と参加者の野口さん。

平成27年度

手話奉仕員養成講座開講

平成27年度の養成講座が島内4か所(昼コース洲本、夜コース洲本、淡路市、南あわじ市)で開講し、総勢47名の参加申込がありました。4月16日、17日開講式がありました。



開講式後、さっそく手話を学ぶ受講生。右から2番目が中野課長

淡路市の会場では淡路市地域福祉課 中野輝美課長も受講生として参加されています。当日は開講のごあいさつを

いただいた後、さっそく受講者となり、手話を学んでいただきました。中野氏は、「保健師なので、聴覚障害者の方と接する機会があり、筆談で対応しました。その時に手話で話ができたらと思った経験があります。現在、市では手話言語条例策定委員会の設置に向けてどう取り組んでいくのか検討中。法律や制度を作るだけでなく、住民ひとり一人に理解をもらうことが必要かと思えます。私も少しは理解できるようにになりたいと手話の講座をうけることを決めました。実際に講座に参加してみても、手の動きだけではなく、表情や手の方向や位置にも意味があることがわかった。頑張っただけで続けた。」と抱負を話されました。

「おのこの家でも毎月作業委員会を開催し、商品開発や将来展望などについて意見交換しあっています。野菜を育てるだけでなく、この施設のように生産・加工・販売までやり、通所者の工賃アップにつなげ、働きがいのあるおのこの家にした」とおのこの家の橋詰所長。将来の夢に繋がる見学でした。(楠本)

「おのこの家でも毎月作業委員会を開催し、商品開発や将来展望などについて意見交換しあっています。野菜を育てるだけでなく、この施設のように生産・加工・販売までやり、通所者の工賃アップにつなげ、

2015 年度 中川原高齢者・障がい者地域ふれあいセンター 事業方針

中川原高齢者・障がい者地域 ふれあいセンター



〒656-0002
兵庫県洲本市中川原町中川原 222-2

「地域とともに歩み、高齢者・障がい者・子どもにとって優しく、生き甲斐と安心が感じられる、活力とふれあいに満ちた地域社会の実現を」を理念に下記の事業を行ってまいります。

★事業所全体

- ・人と人とのつながりを大切にされた運営
職員は各事業所に所属しながらも、そこにとどまるのではなく、職員間同士のつながりは勿論、「ふれあいセンター」の一員として地域住民とのつながりをより大切にしていきます。
- ・多世代交流・多機能型事業
ふれあいセンターも周辺施設の 1 つであることから、中川原スマート IC (仮) 設置の動向を見つつ、内部でも検討会などを開催しそれが多世代交流等に繋がっていくよう進めていきます。
- ・「地域包括ケアシステム」の担い手として地域福祉への取り組みをさらに広めるためにも基盤の強化を進めます。

★居宅介護支援事業所「桜ヶ丘」

- 淡路島内の各関係機関と連携を図り、利用者が出来る限り住み慣れた地域で生活できるよう支援します。
- ・デイサービスセンター桜ヶ丘、おのころの家との連携・情報共有を図り、いち早く利用者のニーズを把握、サービスにつなげていきます。

★淡路聴覚障害者相談支援事業所

- ・本人が望む生活を一緒に考えていきます。(検討・分析)
1 状況把握 2 ニーズの整理 3 課題の明確化 4 サービス計画書の作成 5 個別支援会議 6 モニタリング
- ・継続的に支援してまいります。
1 相談内容を継続して支援していき、継続的な課題解決や適切なサービスの調整を行います。
2 ライフステージに応じた切れ目のない支援をしていきます。(縦の連携)
3 保健、医療、福祉、保育、教育、就労支援等とも連携した地域支援体制の確立に取り組んでいきます。(横の連携)

★老人デイサービスセンター桜ヶ丘

- ・高齢者福祉だけでなく、障がい者福祉、地域福祉の視点をもちまた認知症、疾患、障がいへの対応できるように経験と知識をつけます。
- ・中川原地域、洲本市内を中心に淡路島内への広報
高齢難聴者への対応の充実と特化しないさまざまな方にご利用いただけるような広報を行います。

★おのころの家・おのころ屋 (就労継続支援 B 型事業)

- ・法人事業の重点を基につき、多世代交流・多機能型事業を展開していくために、中川原スマート IC (仮称) 設置に伴う周辺整備の一環として障害者・高齢者が主体となって経営・運営するふれあい農園や、農園で採れた新鮮な野菜、加工品の販売所等、安心して働ける場の創出をめざします。その為に新たな事業開発プロジェクトチームを結成し、定期的に会議を行ないます。

おのころの家・おのころ屋

今春、特別支援学校を卒業され、おのころの家に仲間入りされた濱野尚美さん。始めは 1 パターンの編み方しかできませんでしたが、仲間や職員に教えてもらい、今ではいろんな種類のエコたわしが編めるようになりました。(樋口職員)

編み物が得意!



2015/05/08

「デイサービスセンター 桜ヶ丘」

去る 3 月 16 日、加古川市民センターにて 兵庫県主催の介護保険制度集団指導がありました。平成 27 年度から介護保険制度の新たな報酬改定が決まり、加算の変更など説明報告を聞きました。

この度の介護保険制度では、小規模型(デイサービス桜ヶ丘)の単位数(ご利用いただいたときの基本料金)が大幅減である。解せない。毎月の介護保険収入は前年度の 10% 減の見込みです。

特別養護老人ホームも以前は、50 人規模を数人の職員で支援する形でしたが、少人数のご利用者さんへの支援の良さが国の制度になり、現在ではユニット型(約 10 人位

小規模型(デイサービス桜ヶ丘)単位数が大幅減

を数人の職員で支援する)が通例となっています。

デイサービスセンター桜ヶ丘も小規模型で、その良さは、ご利用者さんやご家族さんケアマネさんからもよく聞かれます。大型や通常規模では、放とかれる、かたずねても「ちよつと待ってね」と、返事がこない。規模が大きいくだけで、支援が手薄になるとは思いにくいですが、利用者さん同士の輪の作りやすさ、職員が利用者さんの状況を把握する上でも、小規模のほうがいいのではないかと思っています。

今の制度では、小規模型での運営は非常に厳しいですが、利用者さんの声が聞ける、過ぎしやすい、また支援が行き届く職員の配置ができる制度になってほしいと改めて感じました。(竹内職員)

続々・地域を語る

中川原むかし話

かるた 口説き

No.10

北岡肇

① 健康を祈って

おまいりする

お薬師さん

「お薬師さん、お薬師さん」で親しまれています薬師如来、中川原町内にある「お薬師さん」について郷土誌などから紹介いたします。

※厚浜薬師堂・本尊・薬師如来、字中所西島にあります。

開創の年月日はわかりませんが靈驗あらたかなお話が伝承されています。(中川原村史より)

甚右エ門さんという人が住んでいました。ある日のこと、

魚を釣りに浜へ行って帰り道のこと、「甚右エ門さん、」と呼ぶ声がしますので、ふと足を止めてあたりを見ましたが誰もいません。たしかワシを呼んだのにおかしいなア…

歩き始めますとまた「甚右エ門さん、」と呼ぶ声がしますので不思議に

思い、よくあたりを見ますと波打ち際に古い木の株が見つかりました。

「これが私を呼んだのかな…」と思い「まあまあ、持つて帰ろう…」と、そのまま家を持つて帰りました。

それから数日後のこと、近くの子供達が私を持つて帰った木の株を池に浮かべて遊んでいるのを見つけて、「コラ、何のこしとるんじゃ」と叱りつけ、その木の株を池から引き上げたところ、甚右エ門さんが急に腹痛を起こし、お医者さんの手当てを受けましたが何の効き目もなく、祈祷師に加持を依頼したところ「その木の株は薬師如来であるぞよ。」とのお告げがありました。

その後、京都の仏師により「薬師如来坐像」を彫り、堂宇を建て安置したというお話が伝承されています。

そのほか

※中川原・馬落ち薬師堂

・東蔵坊薬師堂

※安坂・薬師堂

・中筋薬師庵

※市原・薬師堂

・湯呑薬師

・鳳来山・松栄寺・本尊薬師如来

職員募集

①介護職(常勤) ②介護職(パート)

資格：介護福祉士、社会福祉士、ヘルパー2級、無資格可(採用後、資格取得を目指せます)

勤務時間：①1日8時間、夜勤あり
②週32～36時間、応相談

給料：①144,400円～ ②時給850円～

手当：夜勤手当5,000円/回
資格手当(介護福祉士)5,000円/月

③看護職(パート)

資格：正看護師、准看護師

勤務時間：週4日×8時間

給料：正看護師 時給1,450円～
准看護師 時給1,350円～

○休暇：①公休等119日+年次有給休暇10日
②③年次有給休暇(勤務時間に応じて付与)
○福利厚生：社会保険、労働保険など
○応募方法：必要書類(履歴書、小論文「淡路ふくろうの郷で私ができること、実現したいこと」1000字以内)を、
〒656-0002 洲本市中川原町中川原28-1
社会福祉法人ひょうご聴覚障害者福祉事業協会
担当・橋詰までご連絡ください。
TEL 0799-25-8550 FAX 0799-25-8551



福島豊子様 (85歳)

4月14日
書道講座

作品介绍

いつもご支援ありがとうございます



北岡さまより玄関前に立派なたけのこをご寄贈いただきました。根を残しているため、少しずつ大きくなってきています。青竹に育つのでしょうか、期待です。

